

事業所名

スクラム

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

7 日

法人（事業所）理念		○子どもとなかまを真ん中に					
支援方針		○学校でつけた力、家庭で育んできた力、それらを仲間友達との関係の中で自分を発揮する場所にしよう ～大人への安心感・信頼を大切にしよう～ ○各人の発達段階に応じて大人や友達間での支援を受け合いながら学齢期の遊びや生活・学びを豊かにする場所にしよう ～各人の持っている良さや可能性の発見からスタートしよう～ ○発達の自立と自律への支援をすすめよう ～個々への支援と集団の支援の中で活動を吟味し高めよう～					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○意思表示が難しい子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 ○健康な生活の基本となる食を営む力の育成に向け、畑活動や買い物からの調理活動等の支援も行き、楽しく食事ができるよう取り組む。 ○生活のリズムや生活習慣の形成に向け、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化する。					
	運動・感覚	○庭や公園のアスレチック施設の活用、定期的なウォーキング、日課のダンスなど、日常的な運動の継続を図る。 ○保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊び等を通して支援し、感覚統合運動や多様な感覚を刺激できるよう取り組みを行う。 ○個々の感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、それによる影響を把握し、感覚の偏りに対する環境調整等を行う。					
	認知・行動	○月・週予定表、当日の活動表と併せて、写真・絵カード等を個々に確認してもらうなど、活動の見通しや内容を把握できるようにする。 ○個々の認知の偏り等に配慮し、個々の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。 ○障害特性と行動障害の要因などについて実態把握を行い、前後の行動の様子や行動障害発生時の様子などの情報を共有しながら取り組む。					
	言語 コミュニケーション	○具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等の支援を行う中で、言語の習得、自発的な発声を促す。 ○個々に配慮された場面における人との関りを通して、コミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 ○指差し、身振り、サイン、絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、意思の伝達ができるよう支援する。					
	人間関係 社会性	○人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ○大人を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動への気づきを促し、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ○遊びを共有したり、役割分担やルールを守ったりして遊中で、社会性や他者との関係性が深まるよう支援し、遊びや集団活動に参加できるようにする。					
家族支援		○家族からの相談に対する適切な助言等 ○アタッチメント形成（愛着行動）等の支援 ○関係者・関係機関との連携による支援			移行支援		○事業所等への配慮された移行支援 ○ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ○移行先の事業所等との連携（支援内容等の共有や支援方法の伝達）
地域支援・地域連携		○学校・相談支援事業所等の関係機関との連携や情報共有 ○地域の協議会等への積極的な参加や広報活動			職員の質の向上		○事業所内・法人内研修や外部研修等への参加 ○ケース会議の実施 ○支援・制度等にかかる読み合わせ等
主な行事等		○夏祭り ○夏の水遊び ○お泊り会 ○焼き芋会 ○クリスマス会 ○餅つき ○節分 ○卒業・進級の催し 等					